

[基本教育科目/社会の理解]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
法律と人権	NLA11_014	選択	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
神谷 直樹	教員控室	nkamiya	木曜日 10:30~12:20		
授業の目的・概要	<p>・この授業は、「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」(憲法第97条)としての基本的人権について学習することを通じて、社会人として必要不可欠な人権意識を高めてもらうことを目的とする。</p> <p>・この授業では、人権の歴史的発展についての理解を深めるとともに、各回の授業で取り上げる具体的人権に関して、憲法の条文、関連法規、裁判所の判例、国際条約を有機的に結びつけながら説明する。</p> <p>・各回の授業における課題学習を通じて、一見抽象的に見える憲法の人権規定が、私たち一人ひとりの生活と密接に関わっていることへの理解を深める。</p> <p>・課題学習に積極的に取り組むことにより、人権をめぐる生じている問題の解決策を自ら考える力を養う。</p>				
学習上の助言	<p>・私たちの身近なところで起きている人権をめぐるトラブルや事件に関心を持ち、新聞やテレビのニュース、インターネットなどで取り上げられる社会の動向に注目する習慣を身につけましょう</p>				
教科書	人権入門 [第3版] / 著:横藤田 誠・中坂恵美子/ 法律文化社/ (2017)				
参考書	特に指定しない。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	人権保障の歴史と人権の本質について説明することができる。		HSU(1)(2)		
②	日本国憲法に規定された基本的人権の内容と関連法規について説明することができる。		HSU(4)		
③	現代日本における人権問題を理解し、解決に向けた具体策を見いだすことができる。		HSU(5)		
④	人権の国際的保障の現状と課題を理解し、解決に向けた道筋を見いだすことができる。		HSU(5)		
授業計画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	この授業の概要。憲法と人権について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第1講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
2	人権思想の歴史、社会契約説、市民革命について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第1講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
3	大日本国憲法と日本国憲法の人権について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第2講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
4	個人の尊重と幸福追求権について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第5講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
5	精神的自由権について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第6講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
6	人身の自由、法定手続きの保障について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第10講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
7	経済的自由権と公共の福祉について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第3講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
8	生存権、教育を受ける権利について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第8講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
9	勤労権、労働三権と労働三法について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第9講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
10	ジェンダーをめぐる人権、女性差別撤廃条約について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第2~3講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
11	子どもの人権、子どもの権利条約について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第2~3講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
12	外国人の人権、難民条約、人種差別撤廃条約について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第2~3講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
13	障害者の権利、障害者権利条約について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	教科書の第2~3講を読む。Teams上の課題に取り組む。	4	
14	新しい人権と今後の課題について学習する。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	レポート作成に向けた準備をする。	4	
15	まとめ。 フィードバック: 課題返却にて実施 意見交換の機会: 授業時間内に実施	同時双方向型授業	レポート作成に向けた準備をする。	4	
試	学期末レポートで行う 達成度評価・評価のポイントを参照				

[基本教育科目/社会の理解]

		達成度評価					
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	50	0	0	50	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	10	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	20	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価方法		評価のポイント					フィードバックの方法
試験	行動目標	評価の実施方法と注意点					
	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	学期末レポートは、Teams上に示したテーマ、形式、分量で提出する。成績はTeams上に示した採点基準に従って評価する(50点満点)。			提出された期末レポートは、コメントを付して返却し、最終授業の「まとめ」の中で全体の講評を行う。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回の授業で提出された「課題」は、Teams上に示した採点基準に従って成績評価の対象とする(全15回実施、合計50点満点)。			提出された「課題」はコメントを付して返却する。	
	②						
	③	✓					
	④	✓					
備考							
Teamsを使って遠隔授業を行います。資料や課題のダウンロードもありますので、通信容量に制限がある場合は通信量に十分に注意してください。授業時は、通信容量が無制限のWifi環境を推奨します。							